



平成29年6月14日

**平成29年度 スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）
ビジネス基礎における観光ユニットの取組 実施要項****1. ねらい**

札幌市が観光やMICEなどの政策に力を入れる背景や札幌市の将来像・目標を実現するための計画に対する講話を受け、札幌市の現状や課題を認識する。その後、グループ討議により知識の共有を図り、札幌市が目指すべき札幌の将来像に向けて、自分達には何が出来るのか考える機会とする。

- ・「5つの分野」の活動を始めるにあたり、導入として、地元、札幌についての現状や将来についての基礎的・基本的な知識を、講話を通じて習得する。
- ・自分たちが考える「札幌の現状と将来像」について、グループ・ディスカッションを行う。
- ・グループ・ディスカッションした内容を発表することで、全体で意識の共有を行うとともに、プレゼンテーション能力の向上を図る。
- ・これらの活動の中から、自分の意見を述べるだけでなく、他人の意見を尊重した上で、グループで協力し活動を実施する意識や態度を身に付けることによって、協調性・協働性を育成する。

2. 内 容

各活動の基礎・基本となる知識を習得するために、出前授業による講話を行い、札幌の現状についての理解を深めるとともに、札幌が目指すべき将来像を知る。1回目（6～7月）は、「札幌全体の現状と将来像について」をテーマとして取り上げる。

- ・学習の初めに、生徒の知識及び意識について、事前にアンケート調査を行う。
- ・それぞれの分野について、札幌市役所や札幌市まちづくりセンターの方を講師として、講話をいただく。
- ・講話の振り返りとして、それぞれの感想、疑問点、自分のアイディアなどをレポートとしてまとめる。
- ・レポートをもとにグループ分けをして、それぞれ発表の後、各テーマについてグループ・ディスカッションを行う。
- ・グループディスカッションした内容を発表し、情報や意識の共有を行う。
- ・入学後初めての発表であることから、プレゼンテーションについての知識と経験を高める。
- ・学習の振り返りとして、取組全体の感想や理解したことなどのレポートを作成することで、学習活動のまとめとする。
- ・取組状況やアイディア、感想については、公開できる範囲でHPなどに載せ、関係機関や広く一般からもコメントを求める。

3. 実施時期及び期間

6月～7月の9時間及び10月の9時間 計2回

4. 教育課程上の位置付け

1年生「ビジネス基礎」 240名全員に実施



5. 活動予定

期間：平成29年6月19日（月）～7月7日（金）9時間配当

- | | |
|------|-------------------------|
| 1時間目 | 事前学習（事前アンケート） |
| 2時間目 | 講話 |
| 3時間目 | 講話の振り返り（事後アンケート・作文） |
| 4時間目 | グループ討議 |
| 5時間目 | グループ討議 |
| 6時間目 | 発表準備 |
| 7時間目 | クラス発表 |
| 8時間目 | クラス発表 |
| 9時間目 | クラス発表後の振り返り（事後アンケート・作文） |

6. 講話について

(1) 目的

- ・人口減少が札幌市に与える影響を知る。
- ・札幌市が目指すべき札幌の将来像を知る。
- ・目標実現のための未来創生アクションを知る。

(2) 実施日程

① 日 時：平成29年6月22日（木）5・6校時 13:20～15:10

② 場 所：本校 講堂（1階）

③ 講 師：札幌市 まちづくり政策局

政策企画部 企画課 企画担当係長 鈴木 陽介 様

④ テーマ：「さっぽろ未来創生プラン」～若者の希望の実現を目指して～

⑤ 当日の動き

- | | |
|-------|----------------------|
| 13:15 | 廊下整列・移動開始（椅子・筆記用具持参） |
| 13:25 | 移動完了 |
| 13:30 | 講師紹介・講話開始（講話時間50分） |
| 14:20 | 講話終了・質疑応答 |
| 14:30 | 謝辞（代表生徒）・講師退場 |
| 14:35 | 移動開始 |
| 14:45 | 移動完了、事後アンケート・作文 |
| 15:10 | 回収 |

7. グループ討議とクラス発表について

- ・講話を通して、何を知ることが出来たか、知識の共有を図る。
- ・札幌市が目指すべき札幌の将来像に向けて、自分達には何が出来るのか考える。
- ・グループ討議した内容を発表し、全体で知識と考えを共有する。

※ グループ討議の進め方（しおりから抜粋）

1	講話後の事後アンケート（P5）・感想文（P6）によって自分の考えをまとめる。
2	札幌市の現状について付箋に10項目記入する。（1枚の付箋には1項目のみ書く）
3	内容が似ている付箋ごとにグループを作り全ての付箋を模造紙に貼る。（付箋が重ならないように注意）
4	グループごとにタイトルを考え、模造紙に鉛筆で下書きをする。
5	グループの中から札幌市の課題となるものを探し、発表することを考えながら付箋を移動する。



6	課題に対して高校生として何が出来るのかグループで話し合い、意見を模造紙にまとめる。(付箋を使用してもよい。模造紙に直接書き込んでもよい。)
7	下書きをマジックで清書する。
8	グループ発表を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・制限時間：3分以内・5名全員が発言をする。 ・現状→課題→取組の順序で発表する。 ・各グループの発表を評価する。(P7)
9	グループ活動に関する自己評価・他己評価・感想文を記入する。(P8)

8. 学習評価の方法

- ・札幌の現状や将来像についての知識については、レポート及び定期考査で評価を行う。
- ・グループ・ディスカッションやプレゼンテーションについては、ルーブリックを利用した自己評価（例：他の意見を尊重した意見を述べることができる度合いを基準とする）や他己評価（他の意見を尊重した意見を述べている度合いを基準とする）及び教員評価（両者の差異を基準とする）を行う。